

市民意見の概要やプランの変更点等

～福岡市2011グランドデザイン(政策推進プラン、行政改革プラン、財政リニューアルプラン)～

(1) 市民意見募集手続きの実施概要等

■ (1-1) 市民意見募集手続きの実施概要

○ 実施目的

福岡市2011グランドデザイン(政策推進プラン、行政改革プラン、財政リニューアルプラン)の策定にあたり、市民との情報の共有を図り、市民の意見を反映させるため、プラン原案を公表し意見募集を実施しました。

○ プラン原案の公表方法

各プランの原案を情報公開室、情報プラザ、各区役所企画課、入部・今宿出張所において配付するとともに、総合図書館及び各公民館で閲覧できるようにし、ホームページにも掲載しました。

○ 意見募集期間

平成20年4月15日(火)～平成20年5月14日(水)[1ヶ月]

■ (1-2) 市民からの意見の提出状況等

○ 意見の件数

203件(政策推進プラン:95件、行政改革プラン:46件、財政リニューアルプラン:61件、全プラン共通:1件)

○ 市民意見を踏まえ、修正した箇所数

21箇所(政策推進プラン:11箇所、行政改革プラン:5箇所、財政リニューアルプラン:5箇所)

(2) 市民からの主な意見

■ (2-1) 政策推進プランに対する主な意見

- 大型開発を見直し、子ども・教育・福祉・環境など、市民生活の充実を求める意見が目立ちました。
- 子どもの虐待やいじめをなくすため、子どもの権利条例や、子どもの権利オンブズマン制度を作るべきでは、との意見がありました。
- 留守家庭子ども会が有料化になって1年半経つが、これまで、どのような取り組みをしてきたのかとの意見がありました。
- 子どもの不登校や、非行・犯罪の問題解決には、よい意味での居場所づくりが必要であり、そこを支える人材面や資金面の活動体制が必要との意見がありました。
- 公民館に専門的な知識やスキルを持った人材の確保が必要との意見がありました。
- 地域活動を担う人材の確保が必要との意見や、地域コミュニティの支援は重点的に取り組むべきとの意見がありました。

- こども病院の移転先として、アイランドシティは好ましくないとの意見がありました。
- 福岡市は中小企業のまちであり、国民健康保険の役割は見えない社会基盤として特に重要である。福岡市の国民健康保険の現状について、記述が必要ではないかとの意見がありました。
- 社会的弱者を支援する施策の検討が必要との意見がありました。
- JR鹿児島線と西鉄大牟田線の交差したところに立体の便利な駅を作るべきではないか、また、貝塚での相互乗り入れについては、共通切符化や動く歩道の設置など、駅構内での乗り換えをスムーズにする方が賢明ではないかなどの意見がありました。
- 市民と共働で市内のあらゆるところに緑を増やしていくべきなどの意見がありました。
- 地球温暖化問題に向けた福岡市の取り組みは弱く、具体的な防止策を打ち出すべきとの意見がありました。
- 農林業の振興にもっと重きを置くべきとの意見がありました。
- 寺社などを観光資源として活用すべきとの意見や、博多の観光マップを見かけないなどの意見がありました。
- 福岡空港の将来方策について、新空港建設ではなく北九州空港を最大限活用すべきとの意見がありました。

■ (2-2) 行政改革プランに対する主な意見

- 区役所窓口の休日開庁、住民票の自動交付機設置、市税についてのクレジットカード決済導入を求める意見がありました。
- 手続きのオンライン化や職員の接遇のレベルアップを進めて欲しいという意見がありました。
- 目的と効果を検証し、効果が表れていない事業を積極的に廃止して欲しいなどの意見がありました。
- 現業部門の見直しの方向性をどのように考えているのかという意見がありました。
- 職員の新規採用人数を示して欲しい、行政組織をもっとスリム化して欲しいなどの意見がありました。
- 職員削減数の根拠を示すべきという意見がありました。
- 外郭団体の見直しをしっかりと進めて欲しいという意見がありました。
- 数値目標の現状値は最新のデータとすべきという意見がありました。
- 局区室版にも全市版の実施計画は全て掲載すべきとの意見がありました。

■ (2-3) 財政リニューアルプランに対する主な意見

- 財政健全化プランの目標達成については評価するが、今後、義務的経費の増加が見込まれるため、さらなる財政健全化の取り組みが必要との意見がありました。

- 財政再建は結構だが、福岡の活力をそぐことがないよう、バランスを考えて実行して欲しいとの意見がありました。
- 市債発行額については、早い時期に他の政令市並みにすべきだという意見がありました。
- 健全化目標の達成のためには、お金をかけずにより効果のある方策を模索し、徹底して無駄を省くべきだとの意見がありました。
- 一般会計の市債発行額だけではなく、実質公債費比率などを目標として、市債発行額の抑制目標を積算してはどうかという意見がありました。
- 市税などの未収入金の回収や、受益者負担の適正化などに、徹底的に取り組むべきだとの意見がありました。
- 社会保障について、目的のはっきりしないばらまき福祉はやめるべきとの意見がありました。
- 新規の公共事業着手は、延期や中止も含め慎重に判断すべきとの意見がありました。
- アセットマネジメントについては、必要な保守点検を行いつつ、適切な時期に修繕・改修を行うことが施設の延命化となり、長期的なコスト削減となるとの意見がありました。
- 聖域なく事業の見直しが進むような進行管理の仕組みが必要との意見がありました。

(3) 市民意見を踏まえたプラン原案の主な変更点

■ (3-1) 政策推進プランの主な変更点

- 留守家庭子ども会が有料化されて1年半程が経つが、これまで、どのような取り組みをしてきたのか。
 - ⇒ ご意見の趣旨を踏まえ、P34の第1次実施計画の成果と課題におきまして、開設時間の延長などの取り組み内容に関する記述を追加します。
- 地域活動を担う人材の確保が必要、また、地域コミュニティの支援は重点的に取り組むべき。
 - ⇒ ご意見の趣旨を踏まえ、P23の取り組みの視点に考え方を明記します。
- 福岡市は、特に首都圏の自治体と比べ、ワーク・ライフ・バランスの推進・活動について、具体的な施策が見えていない。
 - ⇒ ご意見の趣旨を踏まえ、P39の施策事業体系に、ワーク・ライフ・バランスの推進に関する記述を明記します。
- 福岡市は中小企業のまちであり、国民健康保険の役割は見えない社会基盤として特に重要である。福岡市の国民健康保険の現状について、記述が必要ではないか。
 - ⇒ ご意見の趣旨を踏まえ、P60の第1次実施計画の成果と課題におきまして、本市における国民健康保険の状況等について、記述を追加します。

■ (3-2) 行政改革プランの主な変更点

- 職員の新規採用人数を示して欲しい。
 - ⇒ P69「定員管理の適正化」の取組内容に「職員の新規採用については、毎年概ね200~300人程度に抑制・平準化を図り、」と記述を追加します。
- 数値目標の現状値は最新のデータとすべき。
 - ⇒ P16の目標像1の指標「オンライン利用できる手続数」の現状値を「(平成19年度)95手続」に修正します。
- 実施計画(局区室版)には、局区室毎の取り組みが分かるように、全市版の実施計画は全て掲載すべき。
 - ⇒ 局区室版にも全市版の実施計画名、掲載No.を全て掲載します。

■ (3-3) 財政リニューアルプランの主な変更点

- アセットマネジメント導入のグラフは更新時期を遅らせただけで、平準化となっていない。
 - ⇒ ご意見を踏まえ、参考資料P2のアセットマネジメント導入後のグラフについては、改築更新費用がピークを迎える時期の平準化を図った場合のグラフを追加します。

(4) その他の主な変更点

■ (4-1) 行政改革プランの主な変更点

- 原案策定後に福岡市コンプライアンス向上検討委員会が報告した、具体的な取り組みをP9、P21に追記しました。

■ (4-2) 財政リニューアルプランの主な変更点

- P20に掲載している健全化判断比率のうち、原案策定時点では不明であった「連結実質赤字比率」、「将来負担比率」の算定方法が概ね明らかになったことから、試算を行いました。また、「実質公債費比率」は、原案策定時から算定方法が変更となったため、再度試算を行いました。

(5) 市民へのお知らせや職員意識の共有化

■ (5-1) 市民へのお知らせ

- 本市の方向性等について、市民の皆さまにご理解頂くため、2011グランドデザイン(政策推進プラン、行政改革プラン、財政リニューアルプラン)についての分かりやすい概要版を別途作成し、周知を図っていきます。

■ (5-2) 職員意識の共有化

- 2011グランドデザイン(政策推進プラン、行政改革プラン、財政リニューアルプラン)で定めた方向性等について、庁内において各種説明会を実施するなど、市職員の意識の共有化を図っていきます。